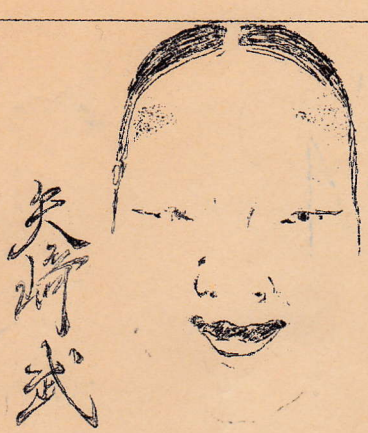
文集 學友廻誌

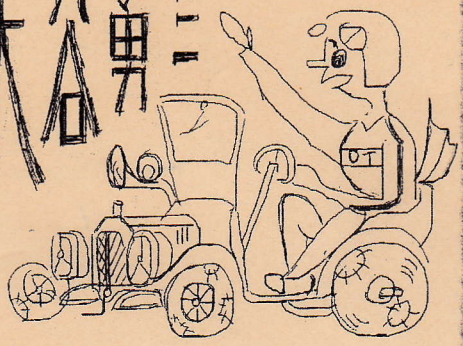
昭和四十四年三月

東京都立戸松高等学校

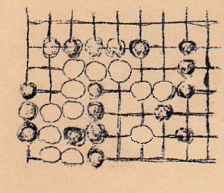


大将武

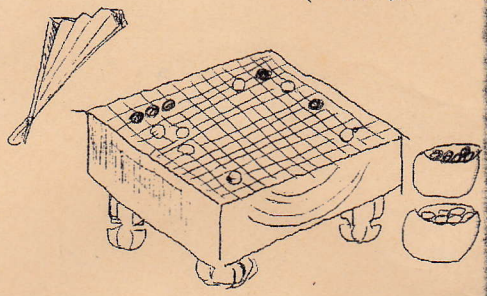
大谷勇三



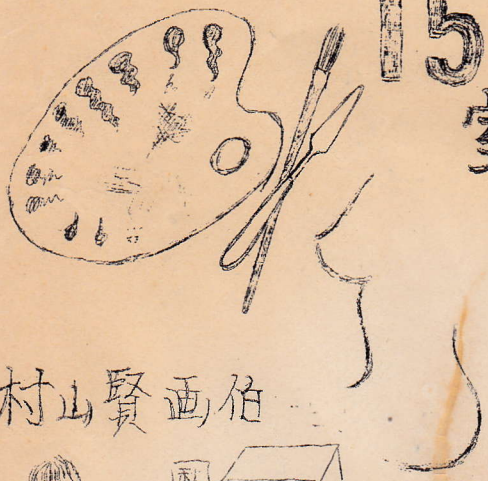
清水寿二（名人 十段 本因坊）



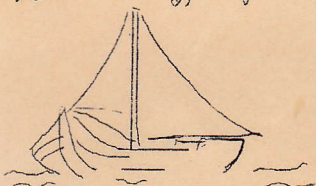
出題
名人
菅波 健
十段
黒先白死



15室

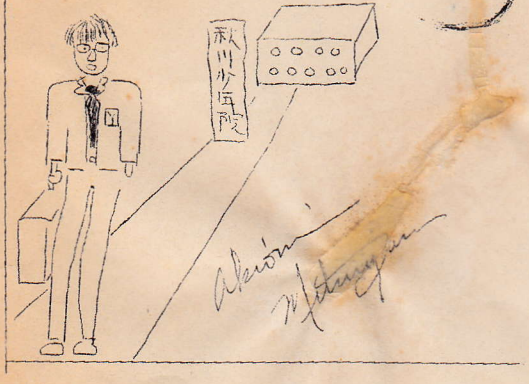


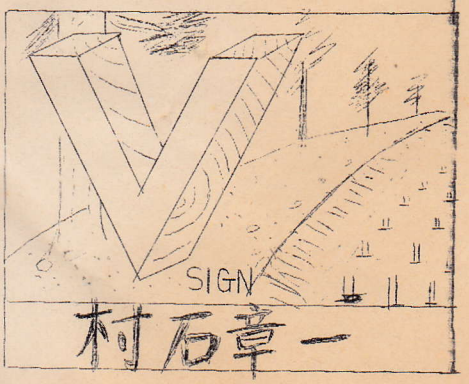
ふぇあうぇる
えぶりばぁでぃ



Fujimoto. Takasi

村山賢画伯





村石章一

不満？

光安 尚臣

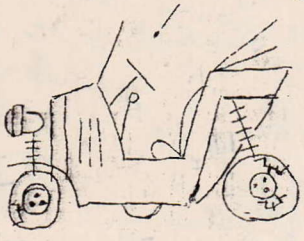
あと一ヶ月余りで入試が始まる時期となってしまった。秋川に二年の時転入して以来、春休みをすべて寮ですごしたり休日もほとんどず本当にしつこい位この寮にいた。この冬休みに初めて帰ったがなんとなく落ち着かなかった。僕にとってよく秋川の寮は最低だ！等というのは正直いってあまり考えの進展したい疑問だった。自分は余り問題意識がないからこの寮に満足しているのかとも思った。この寮に不満がないわけではない。人間だれしも今が最高に幸せ！すなわち全くの不満なしに！という時はないのだから現在の地点においてどちらかと云へば寮しいのだから今の自分の考えとして秋川にいる間だけでも幸福でいようと思う。〈安寮主義者？〉「寮と自分」などという問題を入試直前となった今、改めて考えても仕方ないのでこの事は卒業してから考えて見る事にする。

Graduation is coming 1 year
On March 16th in the year of 1969.
Though I'm last in line
I'll be right on time.
Because I've got to bring up
700 students in "Penitentiary".

三年間を振り返って

大谷勇三

ある時期に、今まで家庭の中で親に甘えて育って来た、雲みたいなつかみ所の無い自分から、もっとはっきりとした自分自身というものをつかみたいという考えにとりつかれる様になった。ちょうど全寮制の秋川高校というのが新設されたことを知って、少なくとも親元を離れたなら、自分というものの何か糸口くらいつかめるのではないかと、暗がりを手さぐりする様な状態で入って来た自分だった。そして卒業も目近に迫った今、振り返ってみると、先ず物の考え方が客観的になり、親や兄弟を一個の人間として考える様になった。又寮生活で、日々の洗濯、学習等の生活の基本的な事を自分の力でやるということによって、自分自身に重みを感じる様になって来た。これは、自分がいくらか向上して来た証拠だと思っている。何事にも先ず当ってみる事が大切な事であり、たとえ失敗しても、それなりに又新しい自分が見つかる。新しい自分に気づく時、自分はよりりっぱになったのだ。僕はおそらく自分が死ぬまで新しい自分を見つけて行くことだろう。この三年間に、ある意味で、長いこれからの人生への指針みたいなものが得られたことだけでも、十分価値あるものであったと思っている。



矢崎武

「雑感」

世の中で一番強い人間は誰か？直接的な言い方になるけど、そりゃ、権力家でもなく、財産家でもなく、どこか上野の地下道あたりにたむろしている浮浪者とも言えますね。なぜかって？なあに彼等は金はなし持ち物はなし妻はなし、まして子供なんぞいないでしょう。要するに失うものを持っていないんですよ。失うものの無い人間程強い者はいないね。金銭的に損をすることもなく、人を殺したって自分が責任をおって死刑にでもなりゃいいし、まして自殺なんぞ自由ですよ。

ところが妻子だろうが、お金だろうが失うものを持っている奴はそうはいかないよ。それがあることが弱みとなって自分の行動が規制されちゃうもんね。

こんなこと言ったら佐藤栄作あたりがもっとも弱い人種かな。

てなこと言ってもまさか浮浪者なんかなりたくないさ。

僕はたまにね、教室じゃのっぺりした顔の先生が、職員住宅の前あたりじゃ、さも満足そうに自分の子をだいているのを見るけどね、これだと感じることがあるよ。先生にしたってなんにもなきゃ楽だけど、どう見ても平凡単調な教員生活を生涯続けて行く気はしないだろうさ。一面じゃ弱みとなってもそんな我が子に、他に求められない小さな生きがいを見つけているんだよ、きっと。

「僕はこの頃思うんだけど、いくら「生きがい」を求めたってまだ前記のものも何ももってない僕等にはっきりしないのはあたりまえだよ。はっきりしていたとしても観念的で社会にでたらすぐだめになっちゃうだろうさ。つと身がたって自分に人間的弱みを持ち始めてやっとはっきりするんだよな。

だから弱いものをもった人間が真の意味で強い人間になり得ると思うね。(はじめの事とは矛盾するけど)

さて、これから僕等は社会人へと一歩近づくわけなんだが、まあ普通の人間はそんなにはなばなしいことが待ちかまえているわきやあないね。以前と同じ単調な生活が続くわけだよ。でもその単調さをすなおに受けいれ「ることは案外重要なことだと思うね。それに負けたら終しまいさ。だがねその努力が過ぎて毎日を苦と考えて今していることがすべて未来へつながる一つの手段とみることはナンセンスさ。やはり現在は現在でそれ以外のなにものでもないのだから、その今をもっとも有効に楽しく過すのが結局は充実した生き方じゃないでしょうか。

今迄変なこと言ってきたけれど僕は決して社会の時勢にのるのがいやなんて思ってないよ。やはり大きな夢はあるのだから表面上は妥協的態度にでても心の内にやあ、決して人にゆずらない信念をもつつもりなんだ。

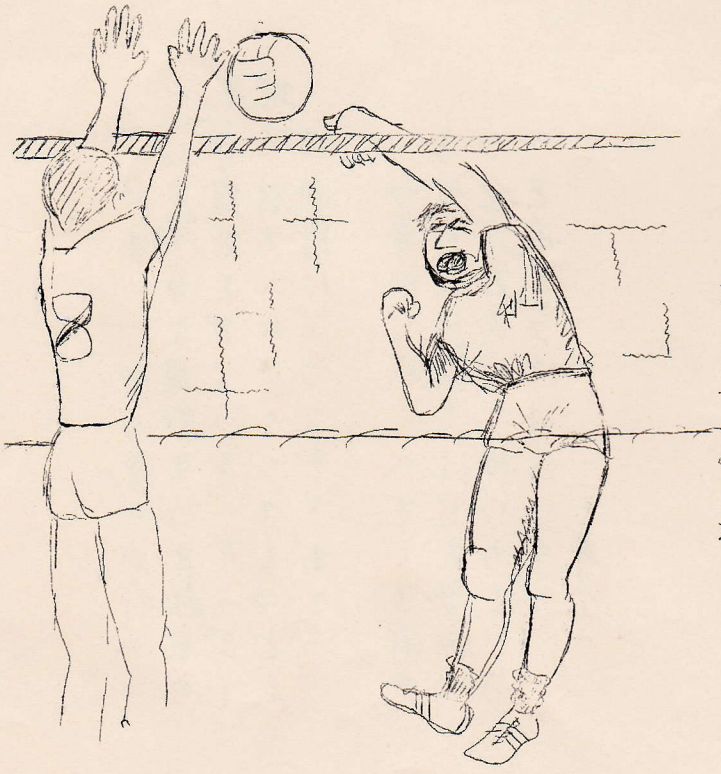
清水寿二

秋川高校を卒業するにあたって皆それぞれ思うことが多くあるにちがいない。ぼくは、玉成寮でぼくなりにいっしょうけんめいやってきた。

苦しいことも多かった。つらくてしかたがないこともあった。でも精一杯それらと戦いのりこえようとして努力してきた。

そういう意味においてぼくは、ここでの生活は、よかったと思うのである。

自分自身できる限り努力してみるのが一番これがぼくの信念である。



秋川にきて、よかったのは、バレーボールをおぼえたこと。みなさんも卒業してもバレーボールをどうぞ。

菅波 健

昭和元禄を謳歌しているこの日本において太平洋の彼方よりおしよせるベトナム問題。はるか西方のスエズ近くにおこっている中東問題特に難民問題などは我々の心をあまりにも強く締めつけてくる。これらの問題が一日も早く解決し平和を望んでいるのは世界中の人々のいつわりなき心情であろう。

インド独立の父ガンジーは青年時代から有色人種の差別待偶と帝国主義植民地政策の苦しい経験のすえいっさいの暴力を否定し一段大きい立場から出発し現在のインドの独立をかちえた。

日本の一部の青年が行っている過激な運動はいま社会の非難をよびている。ガンジーの偉大にくらべてもっと広い視野に立つべきであろう。

蛇足

少年から、成人へそして将来各分野に活躍する日を夢みつつ全力をあげて悔いのない句を送るようではないか。

(別著名人)

村山賢

卒業を目の前にした今日まで
さに壮快である。ぼくは決して
この秋川高校がひどい学校だと
は思わない。だがもうこれ以上
ここにいるのはゴメンだ。しか
しこの三年間、楽しかった、う
そじゃないよ、やはり思い出す
と楽しい。入学前から考えてい
たことだが、ここでの生活でや
っぱり学ぶことは人間づきあいだ
とぼくは思い生活してきた、だ
がどうも結果はうまくいかなか
ったようだ。逆にひねくれてし
まったようにさえ思える。ぼく
のやり方、生活の仕方が悪かっ
たのか、まあ、そうだろうと思
う、この中一の目的を達するこ
とができなかったのは残念だ。
現在の秋川高校、ぼくは嫌い
だ、もっと良くしなくては、
もったいない……将来すば
らしい学校になることを祈
る。
ぼくは絵の道に進む、目
指すは言うまでもなく一流
の画家である。まあ、将来
どうなってるか楽しみだが
44年度、東京芸大受験、不
合格、一浪、油絵の駿台予
備校、すいどうばた美術学
院にて猛勉強、45年度、藝大
知芸大、合格、芸大卒業後
パリへ留学、五年間、勉強
帰国、東京芸大の講師、か
たわら画家業に励む。以上
のようなわけで1974～1978この
間はパリにおりますのでご
用の際は、パリの方へ、
これにてゴメン、

村石章一

頭にくること
一年「動詞の活用をいえ」…「…」「なにやってるんだ馬鹿野郎」バナナ…大竹修
二年「今が大切な時だよ」「これはいいぞ」町田
三年「おのれそれはねブイクションのね」中村省吾

頭にくるCM
一年「だれかさんがよんでいる」「おかあさーん」ハナミズキみを
二年「なんである！カイ愛デア」「チクショウ」
三年「もちろん使ってますね」

実戦英文法！西尾孝氏

頭にくること
九州地方の梅は三月中旬頃からでしょう。四国中国地方は三月下旬頃から梅の見ごろでしょう。東京地方は四月の初め頃でしょう。西多摩郡秋多町下代継地方まるっきり梅の咲く気配がありません。咲かずに散るでしょう。

頭にくることその他
文学者「川端先生おめでとうございます。」
受験生「頭にくるなあ」

交換したい。
「求むゲバ棒。入試実施とひきかえに…全学共闘会議派」

愛読書
一年「少年マガジン」
二年「平凡パンチ」
三年「大学受験ラジオ講座」

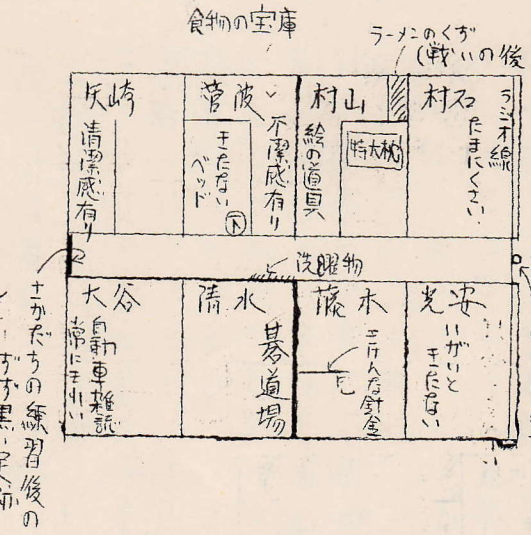
藤本俊

反省なんて面白くないものは、よして、頭に浮んでくることを書いてみよう。まず秋川少年院化説だ。秋川は予想に依れば、将来あの高校の二期生ですというのが恥しいような学校になるようだ。これは、一年以上も前からこの説を変えていないが、悪いことに、ごく近い将来に、そうなりそうだ。この確信は、弟が兄の反対をおし切ってでも受けたがっていた兄とは無論僕のことで、猛烈に反対してやった。のに、二学期が終るとあっさりやめてしまったことに原因している。即ち、学校の説明会の時に、秋川は明らかに普通都立以下のあつかいをされ工業高校へ入学できる位の実力があれば十分だというように説明されたという。このことは、一期生の進学率の当然の影響と見てよいだろう。前記の評価はほとんど変りそうもないことだと断定すれば、今後よい又は、まともな生徒が集まらなくなる集まらなくなれば、もう普通都立高校とは言えない、とりもなおさず少年院ではないかと。確信するところによれば、我が校で最良の学年になるのは我々二期生であると思う。三、四とどんどん悪くなっているのだから。我々の学力を、全体としてみれば、都立普通課の最低をはるかに下まわっているものと思われる。なにがこうしたかは、はっきりとは、言えないが、入った時には他校に迎っている者もいたのだからこうではなかったハズだ。まず化学平衡のように落ちていく者と、伸びていく者とがプラスマイナスで0に見

える点が決るが、その平衡点が他の高校に比べると、落ち方が速かったのだろう。具体的に言えば、学力の劣る者が他の者の足をより多く引っぱり、全体を落したのだろう。この大きな原因は、入ってから全体的に勉強の量が足りなかったことだ。僕の友人で小山台へ行っているのがいるが、まったく日曜とかいえば、映画を見ようとかスポーツをしようなどと言っている我々とは問題ならない程よく勉強する。これでも我々互いに何か素晴しいものを得たのなら救いがある。ところが、我々は自分のカラに閉じ込もりぱなし。心の底のものを探し合って見せまいとしていた。残念なことであるこれでは名家庭にいたのと少しも変りがない、悪いぐらいだ。もっと種々な人と話し合って、自分の理想、思想、(思えば悩みも有ったはずだ)等をぶつけるべきであった。

僕は今このことで大いに反省している。結局及第になってしまったが、少々長く書きすぎたようだから、この辺でやめよう。

思い出の仏室



菅波 健

囲碁というもののはかり知れない神秘さ、美しさ、きびしさ、そしてすべてを忘れ精神を盤上に集中するすばらしさはハをひかれるものがあります。

碁は人生の縮図ともいわれ、一局の碁の中において形勢が良くなったり悪くなったりします。形成の良いときにおごらず悪いときには折れずに、ネバって最後まで勝負を捨ててはいけないものです。

これからの我々の人生においても困難なことに出あっても、あきらめずにそれに立ち向かってゆく、そしてそれに打ち勝つという点において通じるものを感じます。

皆さん碁をやりましょう

十五室では一学期以来碁がうたれてきました。中には四時間近い名勝負もありました。その戦績の一部の発表をします。

十五室碁会所戦績
(11月20日～12月15日)

清水寿二(八段)
13勝 10敗

菅波 健(九段)
5勝 3敗 中学

井上侯夫(九段)
4勝 5敗

その他
(横山・ネバ・井上卓)
1勝 5敗

なを十五室名人戦は清水名人に対し菅波九段が四勝(一不戦勝)一敗で名人位を奪取しました。

その他
囲碁のため井上氏菅波氏は浪人しました。

十五室がラクタ ニュース

その一、某月某日

その夜、吳呼時 我がパパ省吾先生に食料七発見され、一人一人厳重な検査を受け 藤本卵一個、菅波はぞんぶり パンはし、村石はトイレットペーパー(鼻汁用)村山なんとドンブリ2個 残りの4人無罪ただし残りも何をもっているかわからない。有罪者4人 二時間の説経、反省の色まったくなし。現在もセセくとやっている。

その二、某月某日

テストも終わった夏休み真近の吳呼時光安は近くの青木商店より一升ビンを買ってきてうかつにも机の上に置きはなしだった。それを見て省吾先生は一瞬ホホの筋肉をピクくと動かし「アレはなんだ?」恐ろしく低をはなすとパイナップルジュースだった。ちっかかった、(ー)。

その二 某月某日

二ヶ月半後に受験をかえた、その夜パパスと村山の肉にくだるないことから3本棚をへだてて戦争あり。画鋲、多数、ゴミくず等きたない物がたくさん村石の所にかってきた。村山は有望なる芸術家だけに少々理性を失ないやすい。

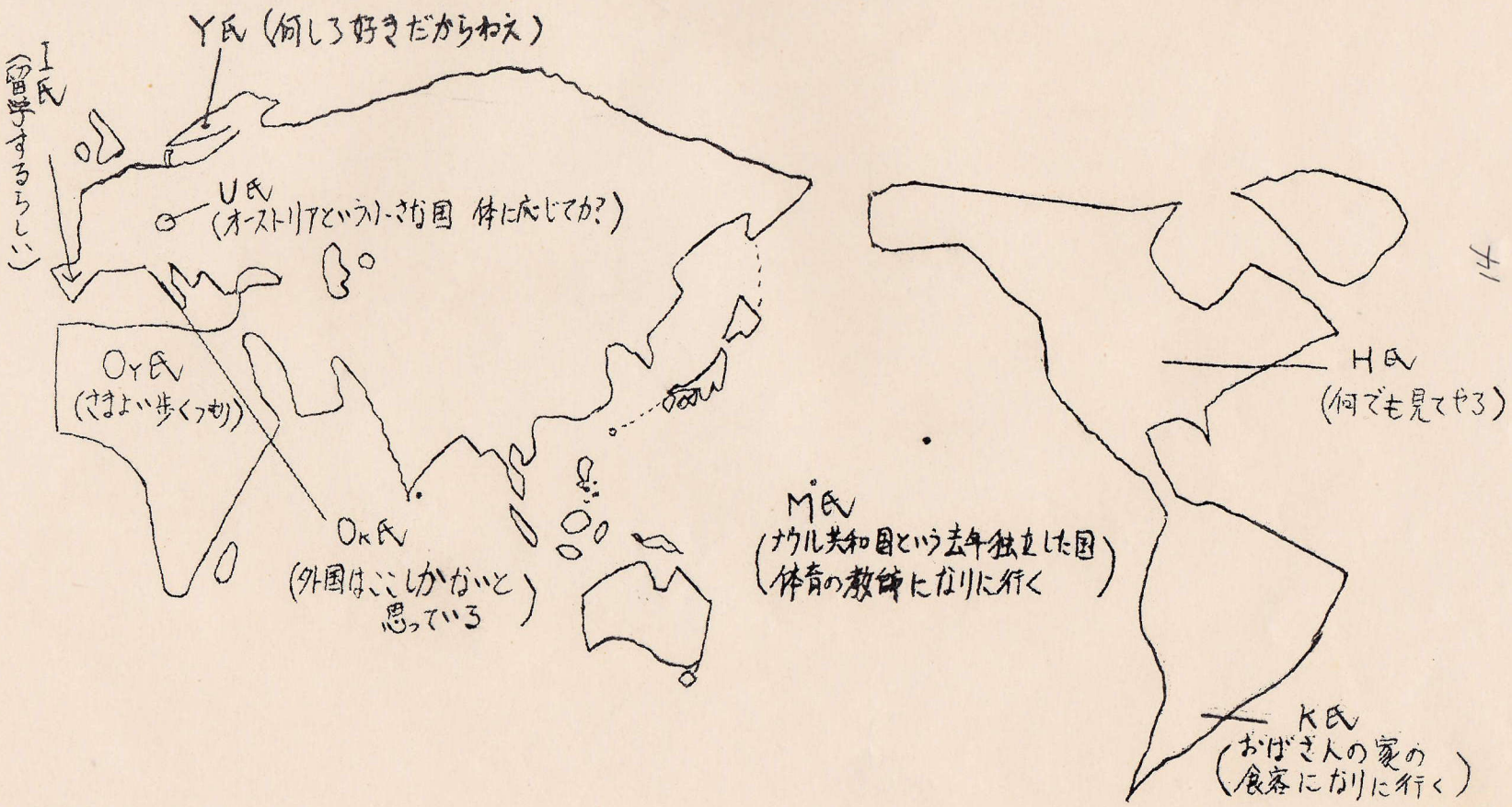
「山下清か村山賢か?」

その四 コンパ(第二回 お好み焼き 初回鉄子)

いろんな材料をただ草に溶かして焼いただけ。(感想)はうまくもなかったがうまい。(厨二のイヤミ)

鉄子はどこかの誰かの意見にすべて従ってにんにくをかっぱり、塩味に少量の血液で味付けをして成功。翌日まで臭気がぬけず。訪問者は部屋の前で立往生外出した者がまわりの人に与えた害は想像を絶した。

世界に羽撃く我等が17



〈短歌〉といえないへ短歌〉　鈴木暁男

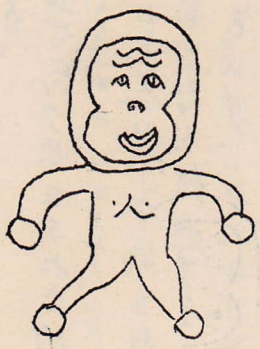
♡こがらしに肩をちぢめて出る点呼
　頭の中はねることばかり。

◇入試の季節週間誌よむとなりびと
　これで余裕かあきらめムードか。

♤電車つき見んるは窓かアパートか
　はれた青空しずむこの胸。

♤日曜日寝逃ばかりのぐうたら部室
　これぞ我らの川室なり。

※　ではみなさん入試にがんばりましょう。



前書
広告

〔我が法律を学ぶの論〕　本多英明

ミヤケのぐうたらムードの短歌とは不釣り合いですが、せっかく書くのだから、まじめなこと書きます。
鬼才本多英明が放つ私小説タッチの異色作！

マジメニヨムコト

入学の頃から法学部へ行くことは決めていたのだが、それは、小学校の頃から接する機会が多かっただけの話しで自分で決めたのではないという不安があった。現在、進む学部はこれ以外には考えられないし、それはこの三年間における視座の形成であるかもしれない。

一年前ぼくは生徒会誌に「ほんとうのことを知り、他に知らせる。」という課題を出した。これは言わば「政治バカにならぬことの勧め」とでも言うべきものだが、他に対しても同様、自分へも励ましでもある。この課題は分析えると直接には、大江健三郎の作品にきったものだという気がする。たとえば、三島由紀夫は「美しくさえあれば、政治的効果なんかどうでもいいんだ。美は日本文化全体の問題です。そしてその中心に天皇制がある。」「資本政権に対しては君の面前で、切り死にするしかありません。」(69/1/15 朝)と言うまさに小林秀夫的な、美の作家だ。

これに反し大江は、その作品とエッセイ群とによって政治的作家であると言えよう。二人は、左右の政治的態度のサなるにすぎず、政治と文学とのかかわりである「他へ知らせる」ということについても大いに異っている。大江はまたノーベル賞に近い作家の修業だに続く一連のエッセイ集、書簡、及び最近の沖縄ルポによって「ほんとう」のことを知るという努力を欠わない。反人のY君は、「三島は作家として廃世に残るが、大江は残らない。」と言う。これは確かではあるがY君もぼくも大江により多くかかれる。

さて、現代は、新思想の要求される時代だと言われる。現にマルキシズムからマクルーハンまで、数ある敵にあるがごとく、各引き合戦を行っている。ぼくは、自分には、新思想を創造することはできぬと確信しを覚悟。さもなければ「ほんとう」のことを知り、他に知らせる為には少くとも「ほんとう」のことを知る為に必要なのは、判断力である。それを正確にする為にその土台に法律が必要なのである。法律はいわば現代の正義感であると言える。その正義感を学び批判するところに、正確な判断力が生れるのではないか。よく言われる「法律を学んだ者の傲慢」とは、こうことを言うのであろう。(69.1.19)

「目に見えないものはすべて美しいものさ」　これは、たしか、星の王子さまに出てきたと思ったが、人間だって、素じゃなくて見えないところがあるから好きになったり嫌いになったりするのさ。それ以上に、一度自分が好意をもって眺めたら、そこいらじゅう光りだして、まぶしくてやりきれなくなるんじゃないかな。

日だってアポロ号が近くから写しだしてしまったから、もう誰も興味をもってお話することなんか、できやしない。

「ねえ君、あの星を見てごらん。きれいだねえ」なんて言おうもんなら、「まあこの人ったら、また、こんなことをいってるわ。今頃、あの辺じゃロケットが飛びかっているっていうのに」てな時代なんだよ。

しかし、こんな程度はまだいいほうだよ。ある大学では、まるで、ニンゲンカ、ホントニ、ニンゲンカロウカ、って思われることを平気でやっているよ。あんなとこ行きたがるやつのツラがミテエヨ。（第一等意識過剰だ友人て思っちゃイヤ）きっと、あんたけやうハにしちゃったらどっかの学校みたいに人が集まらなくなってしまうぜ。

一年間、とっても楽しく遊びました。三年間の高校生活のうちで一番遊んだんではないかと思います。オセ皇は良かったねえ。最高だったよ。いいムードでね。

沖縄に、もしか、ひまっこしてお立ち寄りになる機会がございましたら、左記に御連絡下さい。私がいなくとも、ウチのモノがお世話申し上げます。

沖縄那覇市久茂地町一の十七　割烹「春駒（カッポウ　ハルコマ）」
(3) 0958
木場　薫

無題 （題して・文庫物語）

ここ三年間文庫本ばかり読んで過ごしました。最近では詰めあはせなどといふものまであらはれた文庫本です。先日いただいたものなどは表紙をはがせとあるからはがしてみるとバックスキンタッチの立派な表紙が出てきました。今、発売されているものだけで20種をこえるとか。人間と同じよふにそれぞれ軟派、硬派と様々です。さしづめ「新潮」は現代的青年、源義さんの「角川」が20代、茂雄さんの「岩波」が40代といふところでしょふか。井上靖は父母にたとえ、大塚久雄は宝にたとえています。戦後の精神文化の支柱ともいふべきこの文庫本をあなたは読んでいますか？　ズタ袋に一冊の文庫本を。安く手に入り種類も豊富な文庫本をあなたもいかがですか？　レマルクやヴォーヴォワールの小説、源氏物語や奥の細道などはいかがですか。

※文庫本安く高く引き取ってさしあげます。

石川信一郎

町の紹介（飛騨高山）

小川雄二

ここは典型的な盆地の町であり、山の中の秋留台地を二倍位にした平地に、こぢんまりとした町並が規則正しく並べられて京都を小さくまとめたような所である。昔から小京都と言われていた。町は高山駅を中心に、西側が畑とか住宅地がぽつんぽつんと並べられていて東側は逆に商店街があり、官庁街があり、文化施設があり非常ににぎやかである。その東側であるが、ここが又市街を南北に切って流れる宮川をはさんで、西側が新しい町並、東側が古い町並とはっきりわかれている。西東側の町並は興味深いもので、格子戸の旧家が立ち並び、蔵がおかれ、山のふもとにはお寺が集められているのである。ここを歩いていると本当に京都を思い出すものがある。しかしこの町には特有の田舎くささというものが存在するのである。それは京都にはないものである。自分はその田舎くささが好きなのである。都会育ちの自分にはそれんなものが恋しいのか、いつまで歩いていてもあきない。その田舎のにおいであるが、駅の西一キロ程行った処に飛騨民俗館というのがあり、例の白川郷の合掌造りの農家や、高山市の代表的な農家が置かれている。この中に入ってみると、しんとした、しめった暗さの中に、あのなんとも形容し難い農家特有のにおいがこもっている。これを嗅ぐと都会育ちの自分でも、子供のころの郷愁をふと呼びもどされるような感じがする。日本人だなあと、感じる時なのかもしれない。

さて町にもどるとする。ここの朝は宮川ぞいに起こる朝市から始まる。何キロかはなれた右記のような農家から、そこのじいさんや、ばあさんが、野菜を車にいっぱいつんでやって来るのである。そこで町の人との会話が始まり、その日の食卓がきまるのである。最も近ごろは、八百屋も市内に増えているが。しかし季節物の安さ、新鮮さでは、ここに大刀打できる処はないであろう。この活気に実に素朴を感じざるをえないところである。君がこれを見る時もし旅行者であるのだったら買物するわけにもいかないから、せいぜい写真を取らせてもらうとよい。スナップや組写真で何かの機会に出品したら、入選確実であろう。ここのみやげ物としては何といってもつけ物がうまい。ただしみやげ物屋では

買わず、八百屋等で買う方がずっとうまく安い物が買える。

以上で読者にこの町を理解してもらうつもりであるが、何分にも、紙面が限られていること、要領のえない文章ではたしてわかってもらえただろうか。その点が心配である。尚ここにはニース・ホスてるが一つあることと、女の子が、おとなしくてきれいであることを、つけたしておく。

〈詩〉

酒

かくれ酒はうまい。
本のうしろにかくしたサントリーレッド
グラスがわりのビニールコップ
一人こっそりと飲みながら
ぎっしり集まった週間誌をながめる。
頭がさえてくる。
これを読みあげようという
ファイトが湧いてくる。

あきビンがだいぶたまった
どこにだそうか。

高岡廣喜

古都へ行こう

日本人の心の故郷
それは古都である
現代人は「静」を求める
だから古都へ行く
本当の人間を求めて
古都へ行く

古都は常に人に話しかけている
日本を忘れないように
北山杉は常に人を諭している
寺や仏像は常に人に語りかけている
正直な人間になるように
難解な倫理について

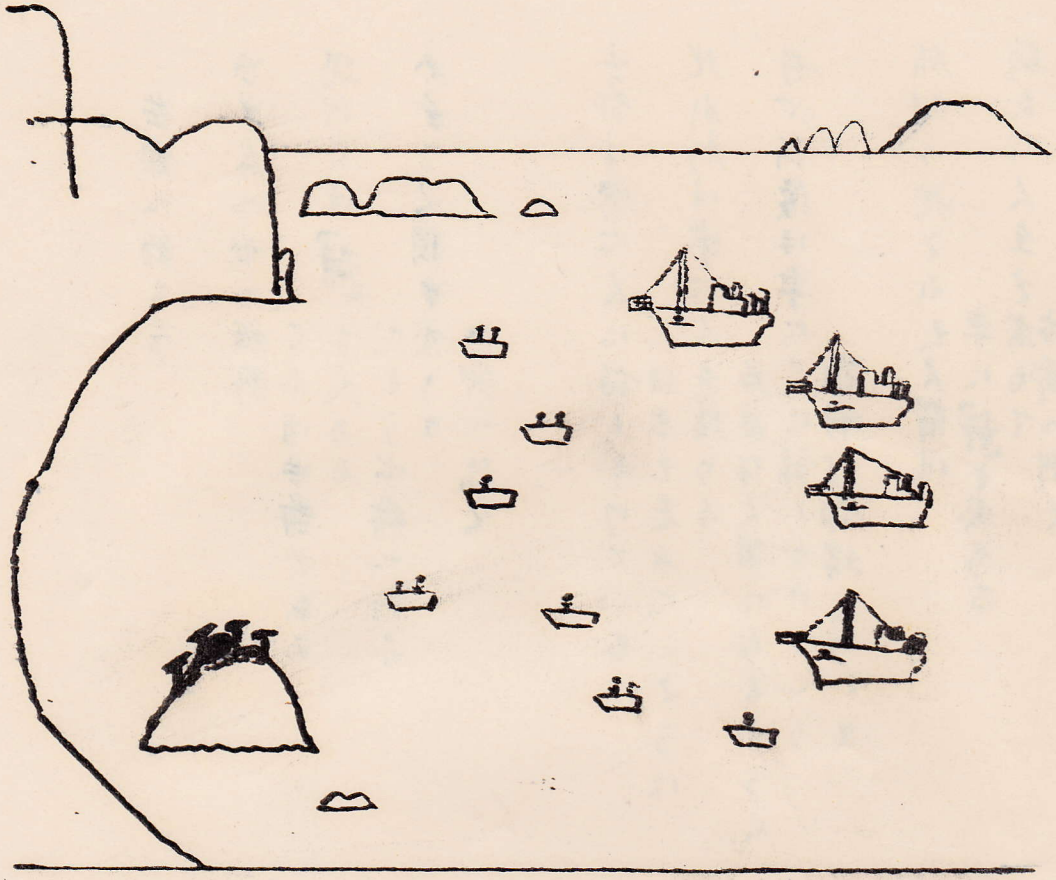
精神を犯された人間は
常に「静」を求める
新たな人生を求めて
古都へ行く

現住所
都内港区赤坂
一―十一―三
夏山様方
TEL 583―1223

出身住所
三重県上野市柑屋町
三一六四
TEL 05952―2―1371

新住所
都内杉並区上高井戸
四―一八九五
栄荘内

大窪一男



99 幸湾の出漁風景

東京都
神津島村
九番地

梅田 清

27

宮川泰昭
井上保夫
高木重昭
藤本敏潤
高橋将美
今中京平
青木和
渡辺健

-o- 蕭本敬輝の回想録 -o-

その1

しますこと。
起致りまいにお思とてをこいすとな致う行筆の執とう向を毎々録3想や去回は過のりのこまめ，学私て，し入校でま本こみてました。

成時にるでの神満玉の石すのと、を千千流またよは腹以ンりっせ円空（ピ。あなく自の政までにーの時と。財りめえ正そーたこと頭はあ私与をのし筆と誇にな。をもこをめ行う。私徳てたさ私のまてし番っ面を喚しっまーいる帳み月まないとひれ恵。りとざ深何をの御うあ料ご成）玉活もまで食で玉。円生神ー本ののずす自の，ま見みた先略，常でりい恵ー。はに日のあ良のた

熱は家な
の頭がポ」ない
くはンツ風邪
近時マポも悪
そかキー様注
のー様注
度
皿
ごこで皆も
めうど中
たのしょ
ま4カ、風邪
4カ全いう
くまくれぐ
した。
「頭の
ざいーがざよ
ぬんごもこと。
ーたこと。
ってではせでせ
日ま態
い状り
かいこと，とたうざうか
苦ーフごいか。
番何
あ出うはとにせ
ーまをフでととま

部に非本で
全誠、
をはは
菓子て同すべき
おとっ一り飛すべ
たに生で撮
あ我々めの早く
ポリます。私うをはじめられた刻も
ガッ時にあり、
検点、た規やしい忍をさせ一
損こと則
番いれなく辈は、この規則を
ーせら害に後り以下は紙面の都合上、割愛させて頂きます。
ーと有常校あ

高木重昭のPage　1969.2.12ほす

PART 1

自分は(例えば経済学史)とねづね大学の多くの学部に学史(例えば経済学史)とねづね大学の多くの学部に学史(例えばこうだんこがりてだという風潮をもっていた。つまり社会的つながりてをもっていた。つまり社会的つながりてをもっていた。つまり社会的つながりてを

京都

こわさなく京都を愛する現代っ子，京都を愛するが京都に住んだことはないけれど，その美しさ千年の王城に心うたれる一人なのだ。

京都は何時どはなくその美しさを僕の前に表す。ある時は，熱いく夏の日，冷き古寺の日影に，遠い歴史を。ある時は，雪いく冬の日，大寺の桜の下に，雅かな美しさを。ある時は，つぼみ開く春の日，大寺の桜の下に，雅かな美しさを。僕は，このような京のすべてがはなだ。しかしその中でも冬ほど好きな時はない。花簡一人住む林しき庵，冬枯の中に点だ深緑を保つ竹林，深紅を持つ椿の花，焼枯野の美しさだ。雪降る時は，さらにその美しさを増す。静かなる雪の銀園，雪深き清流にのぞむ高雄の寺々そして範鳥の寺と，また雪き冬空の冷き光に照された八坂の塔など最高の美しさではないか！それらの例は数限りない。

この世に諸君は，愛する物を多く持つ，美しき心せであり優しき母であり，美しきすべての物を，その諸君が京都を嫌うはずなどないと信じる。なぜなら京都は，そのすべてを持つ由だ。あの京都は永遠の華やか美しさを持つ少せであり，深い雨らぎをもたえてくれる永遠の母であり，すべての美しさを持つ博物館でもあるのだ。

私はこの美しき千年の王城を永遠に愛すだろう，諸もその美しさを知り愛してほしい。

オワリ

1969
1/14
3A5
井上保夫

秋川の思い出

三年前のある春の日、こんな人里かうはなれた所で暮すのかと思い少々がっかりした。しかし昔しから住めば都と言う様に、今ではここをはなれると思うとチョッピリ淋しく感じる。

この学校の廻の景色、特に屋上からの眺めは格べつであると思う。また秋川に沿って歩くと三枚屏風が見えるあの場所と網代にある吊り橋が好きでよく散歩に出かけた。この辺りは小学生の一二年の頃、一度来たことがあり今でも当時の写真を持っている。その写真は五日市街道がまだジャリ道で写っていて桑畑が道の両端に続いている。その面影は現在薄ういでしまっているがその他の点ではあまりかわっていないようである。

とにかく私はこの秋川の景色が好きである。緑の春の山、川の流れ、夏の照り輝やく秋川の太陽、紅葉の秋の山、白くなった冬の山、凍りつきそうな川一年中飽くことがないいつの日か秋川にまたくる時があると思うが、いつまでもこの美しいことを、願いつづけたい。

高橋将美

小説 我が精神の変遷 その1

今中京平

始めの十六年間は霧の中であった。その霧の中でけんめいに手さぐりをしていたにすぎぬ。今にして思えばその当時何を考え、どのような考えを持って行動していたのかまったく見当がつかない。しかしこの霧はゆっくりとではあるにせよ時とともに消えかかっていたようだ。そのような状況を決定的にせしめた一つの出来事、もしくはただそれを認識せしめたにすぎないかもしれないが、それは一九六七年の乗鞍岳登行にある。

私は高校二年の夏休みに、一人で乗鞍岳に登った。なぜその山に登ったかといえば、単にどこか知らない所へ行ってみたかったにすぎぬ。もちろん三千mという高さは、山というものにほとんど縁のなかった当時の私にとって大きな魅力であったにちがいない。小頂付近にひろがる夏の太陽にかがやく残雪、ごつごつしくれだった山はだは、その日まで十六年間にさずきあげてきた私の想像力を絶したものであった。その私の想像力を絶する景色の中に、一人ずれおちそうになる石ころの斜面を一歩一歩かみしめながら登って行くうちに、私はなんとなくすがすがしいものを感じていた。私はあいにくまだ大気圏を突破するという経験をもたないのであるが、その時もおそらくこんな気持ちがするのではないかと思う。そのような気持ちである。つまり自分の想像考えのおよぶ範囲、例えていえば人類に対する地球のようなものから飛び出した時のものである。その時から私はより強く自分という地球を認識できる位置に立った。私という存在における核というようなものを発見し認識し始めたのである。（ノーベル賞をもらうにはスケールが大きすぎる）

〈我が心の遍歴〉

青木希紅

三年間という長くもあり、短かくもあった学園生活において、心の遍歴には著しいものがあった。

入学当時の本当にすがすがした気分から単純な生活形態における我が身の置き方。又友人関係などには、その人自身しか持ち合わさない独特の個性というたものが私の心の骨格を形成したかどうかはわからぬが、人間関係においては、特殊性を持ったという感じがする。平面的な時間という物体に支配されている我々には、必然的に友を友としたのかも知れない。しかるに、内面的な対立があったのも、外面的苦痛があったのも、これからという人間にとって必要十分条件だったかもしれない。こういう団体生活では、自分と、うものを、どんな形で位置づけたらいいのかと悩まされているのが常であった。が、最終的段階に入った現在、将来への道しるべとしてのこの場での試練がいかなる効力を発揮するか楽しみである。初体験というものは、いかに心の片鱗にも残っていないものさあ、我々の時代が来た!!というシュプレに混って孤独と焦躁とにさいなまれながら、荒波を乗り切る程の体力と気力とで太平洋という、世界を又にかけた大冒険をやろうではないか諸君!!

われわれの一生の過程の中でもなかなか重要なのは青年期なのである。そのうちの三年間をこの秋川にすごしてきた。われわれは　三年間を過ごしてしまった。もう帰ってはこない。

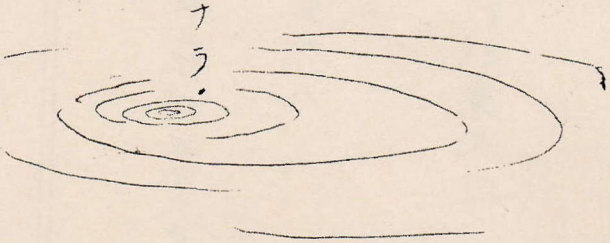
ぼく達はここで何を学んで来たのだろうか。

中略

結論

浪人・学生・社会人・これからもその歩みを止めることなく　それぞれ自己の将来を夢みてその開発に努めよう。

サヨナラ・サヨナラ・サヨナラ。





和歌三首

春立つ日に詠める　　従二位渡辺左大臣

巌うつ　流れもはやさあきかわに
　育てる小魚　今は巣立たん

春のこころを

山里に咲ける白梅

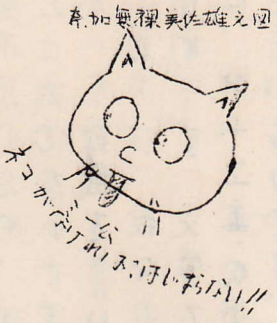
ほのかなるかほり移りしわが庵かな

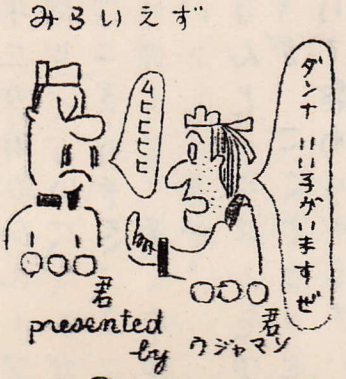
百首奉りし時

石上ふりにし月日心わぶ
　我が身ひとたびの春をまたなれ

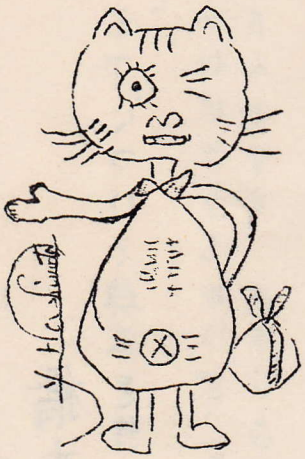
渡辺家蔵松家集
「瀬々の小波」より

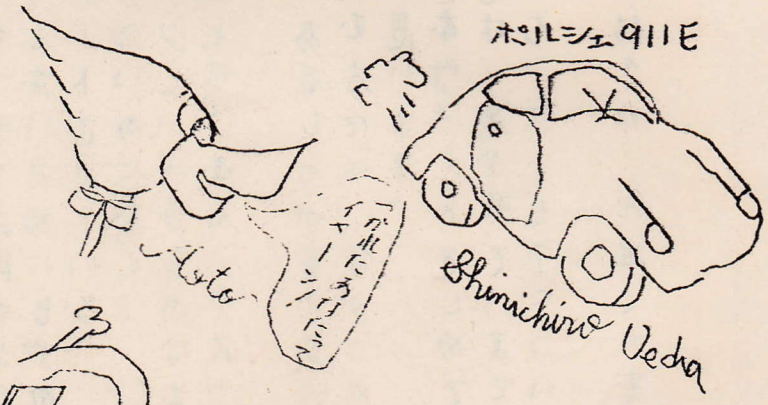


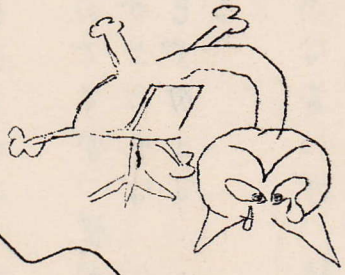


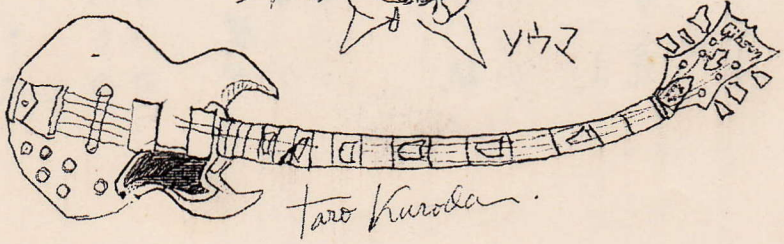


BACK IN THE U.S.S.R
A HARD LAST NIGHT
YESTERDAY
EIGHT DAYS A WEEK
I'LL FOLLOW THE SUN
I SHOULD HAVE KNOWN
ハード-









橋本容明

一年ばかり前から僕は、"ユーモア"について興味を持ったので、それについて少しばかり、書きます。

ここでユーモアのある小説とまでいけそうもないが、それに近いものでも書こうと、構想をねっていたんですが、あまりおもしろくないのでやめにします。

一つここに、ユーモアあふれる、先生との対話があるのですが、僕が思うにたしかにおもしろいと思うのですが、我が恩師からみれば、ゲボッとする内容なので、あとあじを悪くしないためにもやめます。

今僕は、三年前、中三の時のグループ・ノートを見ている。

その中には、文と同じくらいにマンガが多いのに驚く。

そのマンガには、一、二をのぞき、ユニークといえるものはないが、読む高校生・大学生に対して、書く中学生とは、ふと、クスッとわらいをさそう要素がないでしょうか。

勉強不足のため、ほんとうにユーモアのあるものが書けないのが、まことに残念なのですが、ここでこれを読む方々へ、僕がこれを書く気になった動機を書いて終わりにしたいと思います。

ユーモアは、我々の生活において、大きなウエートをしめているにもかかわらず、文学では、あまりこの分野は、開かれていません。

僕は、ダム工事の現場監督になりながらも、ユーモアについて何か、書きたいものです。

題して、ユーモアと私。ここまで。……続きは、お近くの書店で。

短調と日本人

中村　攝

両国でだに三年ごとに三年ごとであったことである。ひょっとしたらこれからも非常に大きなことであるかもしれないと思っている。

日本人が短調を愛するということはいわゆる演歌調の歌謡曲が今日なおかなりの勢力をもっていることからも明らかであろう。美しい旋律とはおよそ縁遠いと思われるこれらの歌謡曲がなぜ日本人にこれほどまでに愛好されるのであろうか。

日本人の感情生活の特徴の一つは感傷的なことであるといわれる。感傷的な人間は涙もろくて、ちょっとしたことにすぐ泣いたり、また泣かせるような物語や芝居や音楽を好むものである。日本人の感傷的な傾向は、日本の風土的環境から来るものであるかもしれない。日本の風景は概して優しくて、どこか物悲しい感じのするものが多い。

非イアいる短あと音象
ゆいな長かし重本は大。
ビートルズをはじめ、軽快でかのか、的な根で、日本人とるこで、再う。
どんどん作リふえ、ふりのフレンドをもつ定型なうまれてくる。
なりの語て日程のっまこんリこれ、
音の世界がいろがっている。
常に進歩的なカレンドをとんどん作リふえ、ふりのフレンドをもつ定型なうまれてくる。
キリ入、しゃれっ気たっぷり定型なうまれてくる。
メリカetc,それぞれ特定のんどんう軽音びいか、
軽調るつかな楽がそ海めて心なにめはる調一べて良かみて更さなくなった時、同時に日本人それらの要素も次

貴方へ与ふるの書

作 黒田太郎

なものえ貴無もち続…の方会18連のてどるや…う
らに愛消だのりうめとる貴にか私あっの明鳥…の……
知に愛消だのりうめとる貴にか私あっの明鳥…の……
も無残のくま外よの求これい方しかのき望…小ね胸を……
何へなはの風胸をのわな貴たれ前り絶けやのいち
は方も私窓北の方私救れてはそ年ふはだ空いなう
貴たぜ…の私貴はらなめれも三を私う青なつの
方こ貴たぜ…の私貴はらなめれも三を私う青なつの
は…この私のかなとか…そぶにとかは初あそ
貴を…私のかなとか…そぶにとかは初あそ
方を…私とかなとか…そぶにとかは初あそうも!!
は…私とかなとか…そぶにとかは初あそうも!!願以まがでのは胸
何…あぜしてなか…し風すよるめいい……そそわ!!願以まがでのは胸
も知…あぜしてなか…し風すよるめいい……そそわ!!願以まがでのは胸
無らに…なのいい吹こ生のきいらぬん…だなそだそもの私れた胸
残愛…をな冷たがはあ獄やき思しめたせっ……たりのこ砕かの……
のくま…を期な冷風私あ地にのかたっだ私っ…ずふ私…ちいい
外よ…のうちをな冷風私あ地にのかたっだ私っ知けもうい…ちらいい
の求これ…胸のうちを期な冷風私あ地にのかたっだ私っ知けもうい…ちらいいも
風胸をのわ…胸のうちを期な冷風私あ地にのかたっだ私っ知けもうい…ちらいいもた
北の方私救…のそれれ冷冷にらのただ日始にしべにぎ知残どうしたら
方私救れてはそ…日れれ冷冷にらのただ日始にしべにぎ知残どうしたら
私貴はらなめれも…のそれれ冷冷にらのただ日始にしべにぎ知残どうしたら
貴はらなめれも三を…この脳日っだめもまもだはらにしたら
はらなめれも三を私…この脳日っだめもまもだはらにしたら
らなめれも三を私う…この裡々たっだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
なめれも三を私う青…この裡々たっだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
めれも三を私う青なつ…の裡々たっだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
れも三を私う青なつの…裡々たっだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
も三を私う青なつの…裡々たっだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
三を私う青なつの…裡々たっだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
を私う青なつの…裡々たっだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
私う青なつの…裡々たっだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
う青なつの…裡々たっだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
青なつの…裡々たっだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
なつの…裡々たっだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
つの…裡々たっだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
の…裡々たっだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
…裡々たっだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
裡々たっだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
々たっだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
たっだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
っだ私っ知けもうい…ちらいいもたら
だ私っ知けもうい…ちらいいもたら
私っ知けもうい…ちらいいもたら
っ知けもうい…ちらいいもたら
知けもうい…ちらいいもたら
けもうい…ちらいいもたら
もうい…ちらいいもたら
うい…ちらいいもたら
い…ちらいいもたら
…ちらいいもたら
ちらいいもたら
らいいもたら
いいもたら
いもたら
もたら
たら
ら

あ私はどうしたらいいの……貴方は何も知らに愛消だのりうめとる貴にか私あっの明鳥…の……

『子どもの世界』より　　向田邦子著

デリカシイ

日本の子供もずい分とおマセになりましたけど
まだまだフランスの子どもには、かないません。
フランスの子どもはママのお腹が大きくなると、
心配そうにパパを見て同情をこめていいます。
「かわいそうなパパ」
どうしてなんて聞くんですか？
あなたは大人でしょ。
妊娠した妻をもった夫が、いろいろと不自由なことぐらい判らないようじゃ、フランスの子ども以下じゃないの。
　さて月満ちてオギャア(もちろんフランス語で泣きますが)となる。
小さな姉や兄は、そこでオズオズと生まれたばかりのベビーをのぞきこんで、うごめいているピンクの塊りの髪の色と目の色を点検します。
それから自分のをカガミで見てパパのを覗て見て
ホッとして言うのです。
「パパおめでとう」
　髪も目の色も、黒と決まっている日本の子どもに、これだけのデリカシイのないのは、当り前と言えば当り前かも知れません。

というおはなし

提供：上田伸一郎

字安龍句吾出在万歳　by 五木孝義
ジアンリュックゴダール

part one, ゴダールの映画はしばしばその難解さで問題にされ興業的、資本主義的、功利的感念によってオクラにされることがほとんどである。実際彼の作品で封切られたものといえば、まことに残念なことではあるが、その半分にもみたないのである。

part two, ゴダールは映像をメディアにして借り物ではない彼自身の思想ー彼は作品のシナリオ・台詞ともすべて自分で書くーを独自の饒舌ではきかけてくる、もはやそれは一方的な視覚にうったえる像ではない、映像における観客との対話である。これこそ現代の映画において重要なエレメントであろう。しかしまことに不本意なことではあるが今までの否現代の映画制作においてほとんどの監督はこのことをわすれている、彼等は映像の無限性を信じていない、映画を一方的な単なる一つの既成体形の産行としてしか製作していないのである。

part three, ゴダールは映画を形式ばったものとして撮影してはいない、彼は映画を一種のおあそびとして考えている、それがまた普通の映画にはみられないストーリー性の破戒、異様な感じをもたせるセリフの羅列となってあらわれるのである。しかしこんなゴダールにも限界がある、しょせん断片的な映像の組み合わせには初めはあっても終わりはない、だから彼は一番安易な"死"によって映画に結着をつける、それは映像からの自己逃避といってもしかたないであろう。

the end, 書きたいことごちゃごちゃ書いたけど、最後に、僕の高校生活をバラ色にしてくれたムッシュゴダール万歳・・・・・・・・・・・・・・・

無題　　by ペッカー・青砥

た。月しとうのなての収
あっ　ひっよこうっもの
り、ちやいよとるる大
校が入打で、長は、たに得最
高門り、熊んと我得分りて
川校去状なだリのとっ
秋せえるはまか、ワト先えに
にらはに年とニかの自
こくる底こむれ心は
そふもんでた生こ
と、をにどすをはき、これう。
と脳倫のるあ卵れでこう！
渡に無意出で金そ頼君。
を夢ち、失い日の信る。諸
川とたて、這月羽るもず君
摩望がれ門短にがっとでさとこ出の
多希日が杖で間気もだ獲
う然を君そや、活バ

猛声諸このにン
へ門は時もいがか
戸のとのた大も
開門そこそ得て僕
はのてのでし、
戸そし分う。活とレ、
門はそ自う生訓バ
への等る、先のある教ンう。
へ君由諸いうるわっもガよ
自てかれた一君進
ゃしめれさ年を〝前
に。
葉
言
合
べも
体す〟用ル

真

実

一

路

いささか抵抗ないの感があるが耐久消費財に対する考えを改めたい。ロールスロイスがなぜあんなに人気があるか。人間が完全を求める本能を持っているからである。最高の材料を使い、最高の技術をもった職人といえる工員達が一つ一つ丹念に作って呉れ彼等は最高の技術をもちその技術に誇り自覚しているので実に良い仕事をする。

このような傾向はヨーロッパの職人の間ではしばしばみかけられる。事カ ホルシェ レンズのプリクタール、ライターのダンヒル、タイヤのミシュラン ホルシェのドアは一九年間酷使し続けても五mmもくるわないそうだ。ダンヒルは一度でつかないことが無い。ライカのシャッター音はいつまでたっても変わらない。決して利益のみを求めず、ただ良い物を作ることに喜びと感じているのだ。

僕は良い物が好きだ。顕微鏡を持つならその固さが一定なものが良い。車ならいくら雨がふっても水一滴漏れない物が良い。良い物というのは持っているだけで楽しいものだ。いや持てなくても存在するだけでも大きな値である。

日本にもホルシェのようにCMもせず価値の分かる者だけ買え」といった自信と傲慢さをもった会社をおめたい。それよりも多くの人々に良い物に対するあの独特の嬉しさを分ってもらいたいささか生意気な言いかたかも知れないが あのうれしさを知っている人は意外と少ないと思う。たとえ持っていなくとも絶対それは存在するのだ。僕はフェラリーのエンジンの写真を見ただけでもゾクゾクする。もし何かを買う事があったら少々無理をしても最高の物を買ってみると良いと思うがまっとライター一つでも人生がうきうきするほど楽しくなるあの感覚が分かると思う。

（　　）相馬良成

学校　ある生活

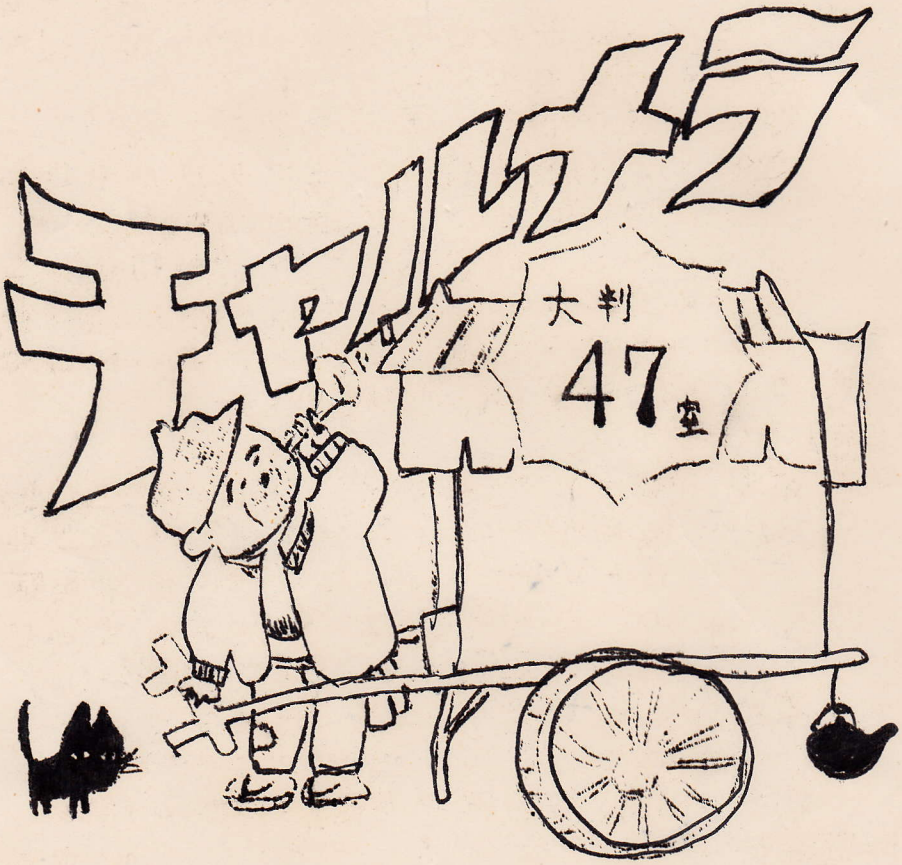
2時19分。ポコポコ：下敷で誰かがいたずらしている。S君は机の下で何か読んでいる。
24分。「アー」。と声が出た。「誰だ。アーとは。」先生が叫った。
26分。先生「これ消していい？」「ハイ！いきおいのよい声が返る。笹ドッと笑う。
29分。N君が定規を落し、すぐ拾った。
40分。Y君が寝始めた。
45分。隣の人が　舟をこいでいる。
48分。二人寝始めた。机の上にうつぶしている。教室の中は先生の声だけ。
53分。又一人寝始めた。二人まだ寝ている。
55分。K君とS君。こそこそ何か話している。M君。U君うつらうつらしている。
3時0分。鐘が鳴る。授業終了……。

帰宅

7時32分。「パーティ」の音楽。U君の所にI君とK君が来て、「本がない！！」とさわりでいる。コーヒーのかき回してりる音が聞こえる。外は雨の音。A君S君N君は、世界史の問題の出し合いしている。
34分。辞書のめくる音・イスのキィキィいう音聞こえる。部屋は静か。
52分。H君が眠たそうな声を出した。
8時8分。入口側の4人・ふざけているみたいだ。笑い声・叫び声が聞こえる。
12分。ゲップ・あくび。テラスをバタバタ音をたてて誰か通り過ぎた。
20分。入口側の4人、何か話している。「30点評判悪いから、弁解しようか。……」
32分。静か。点呼まで、少しある。

（安留　治）

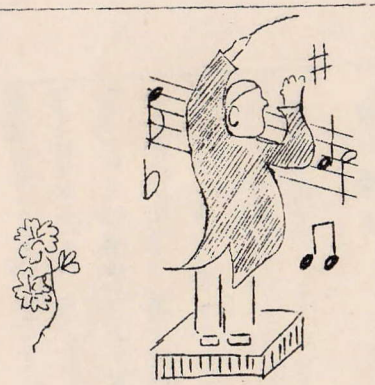
14


大判
47室

まず〝キザ〟に卒業生へ（僕もそうだが）送る

人生とは人類の不幸や苦悩を少しでもなくしていこうとする一人一人の努力の過程である。（名文だ）この世の中はまるで大きなオーケストラのようなものだ。（さすがは音楽組）そして我々は一人一人がその大きなオーケストラの中の一つ一つの小さな楽器のようなものだ。ちょっとでも音程を狂わせたり、リズムを狂わせたりすると、美しく鳴りひびいていたオーケストラも、不協和音や乱れたリズムのためにだいなしになってしまう。自分の受け持つパートがたとえどんな単調であろうと、どんなにむつかしかろうと、奏者は懸命に楽譜と指揮者に忠実に正しく演奏をしつづけなければならない。まして指揮者がまちがったり、下手な指揮をしたら！！！！どんなに奏者たちが優秀であっても、懸命に努力しても、あのオーケストラの美しい壮大な響きと生き生きしたリズムは生まれてこないだろう。何十人もいるヴァイオリンの一人が毒つた音をだしてもそのオーケストラがだめになってしまうことを、私たちは忘れてはいけないと思う。

次に〝愛の苦しさと喜ばしさ〟



愛することの苦しさとよろこばしさ、愛されることの苦しさと喜ばしさ、それを本当にわかることのできる者だけが人間らしく生きて行ける者だ。諸君！早くこの隔離病因からぬけだして愛というものにぶつかっていこう。　鏡ットム

講演「まだない日本の私」より

独断（あるいは独善？）

目的、論理ともになし。

解釈だけが必要とされる。

作・島端邦成

日だまりの教室の中で僕だけが起きていた。冬の輝きを失なった空と乾いたほこ草と低くどす黒い山々に囲まれて僕だけが生きていた。

希望を失なった女の唇のような風がとおり窓をたたいた。

思えば当然のコトではないか。男ばかりの修道院みたいなこの学校で一人坊主になっているこの俺が去勢された犬のように、そっと涙ぐむのも。

回想ー ユミちゃんがそうじの時「何で男ばかりの学校に行くの？」と聞いた時俺は自分が異常なのかと思って返事できなかったり、

うそにしかならない思想、甘くない現実をどこからみても学生運動という幕末の打ちこわしが行なわれて、三島由起夫などという きちがい役者が尊敬されて、人間は結局ネガティブにしか生きられないのにポジティブに個性なんて主張するから、町の若ケ者はモばかりのばしてボタンのいっぱいくっついたばばばしい洋服を着ちゃって雌がメスになったり、服装が人間を限定するなんてことを実験してるみたい。

俺も小林秀雄君の様に政治論を好まないキザな野郎と言えば言えるが、間接文化の時代になって直接民主政治なんてことを言ったり、自エ隊とかあめりかどうのふらんすがどうのと言っている、それもまるで自分の手でどうにかなるような、勇気をぶちまけ誇示する奴もキザと言えばもっとキザじゃないかな。だけどキザはスキオおらいんだな。

間接文化と言ったけど例をあげようか、修正写真技術の粋をあつめて創作されたピンナップの女性に現実の女性以上に女性を感じている男が別、ことは事実なのだ

機械自身よりもカタログに機械を感じることはないか、時計なんか精確な時刻を知らせるという機能よりも（　）なりングがったり近年やたらとゴテゴテしてきてるけども あれはメカニズムの所有欲のあらわれじゃない、ラジオ講座に本物の授業以上の授業を感じてる人いないか、教育のマスプロ化なんてこと言われているけど数が多くなってマスプロ化したことも事実だけどそう間接文化的傾向が強まってきてるから皆が潜在的に間接化された情報を欲してるからマスプロになったんじゃないかな。

味の芸術ー美術は目で見、音楽は耳で聞くものとした 舌という立派な感覚器で感じる味がなぜ芸術とされないか、それこそ芸術は生きる為に必要不可決になるのではないか

味の展覧会（失礼、多少どもるので）質会ー会場には白いスプーンと白いパッケージにつまれた味がおかれている、展覧会は味の地理的な拡大や調和を楽しむものである会場には カンバスに味をぬりつけた絵もあり 人つがそれらをなめまわしている。

演奏会は味と時間的に楽しむものであり、人は聴衆者のようないすにストローを加えてすわり 流しこまれる味の和音 を楽しむわけ、感覚をもっと開放することは思考能力を高めるために必要だと思う。満口氏が名まえを書けというので

美人に対して

「自分のよさは自分にしか解からない、ところが人々は自分の絵をかってに価値づけてくれる。」というようなことを、岡本太郎氏が言っているが、たしかにそういうこともあるかと思われる。

人が美に対する場合その受け取り方は色々である。

美は人がそれを感じ取る時、その感じ方は千差万別であるのはもちろんのこと、美術愛好者同志でも美の受け取り方は人々、本質が異なる人間の、美に対しての感じかたは、個人々々異なるはずなのである。

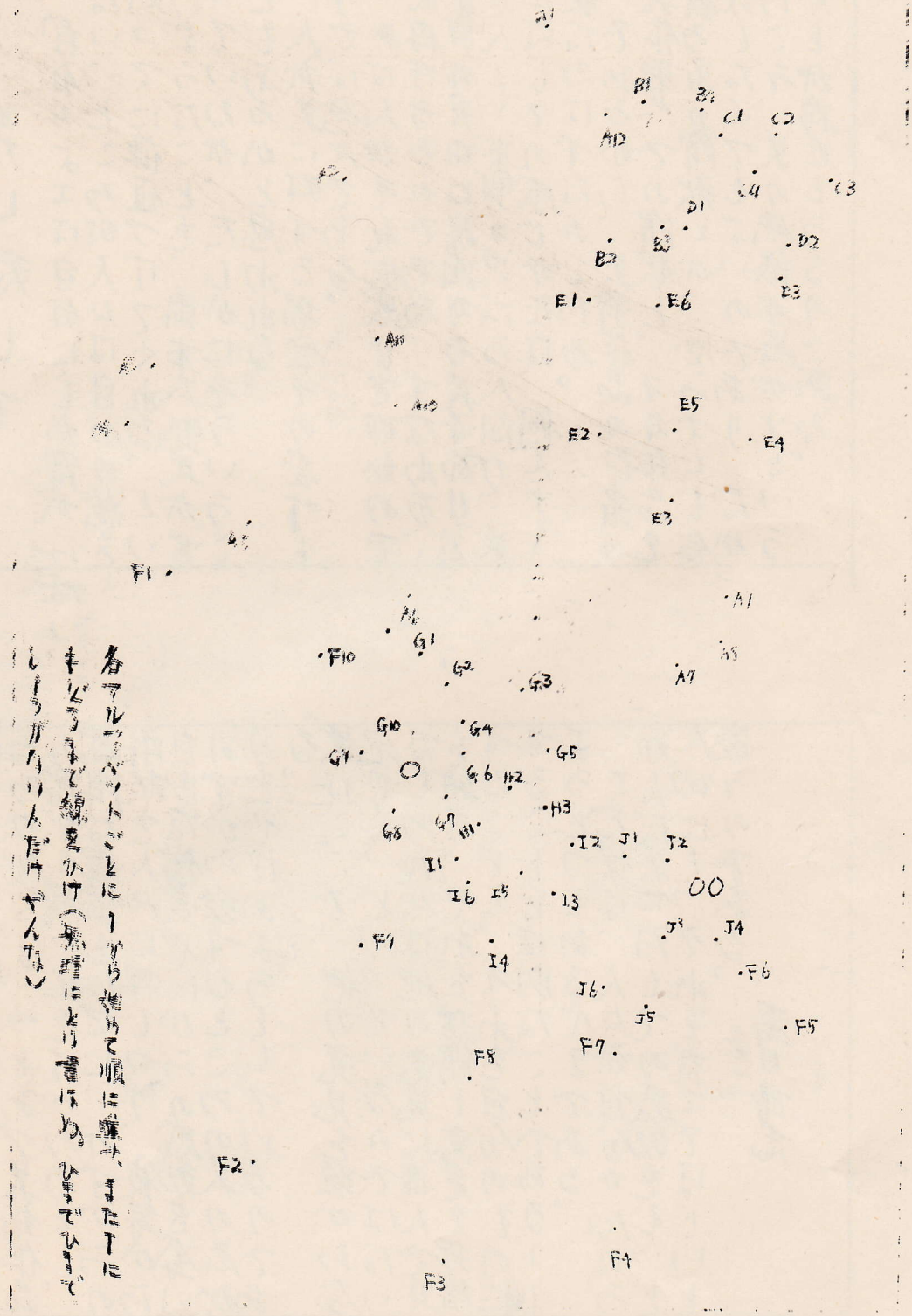
でありながら、美術作品の作者の製作時の解釈と、その作品を観る者の解釈とが、必ずしも合致しなくてもよいのであり、だからこそ、美の無限の広がりというものが存在しうるのである。

ところが、評論家という人種のうちの殆んどは、つとめて美術作品の解釈の統一化をはかろうとし、難解な理論をたてに、みずからの解釈を人々に押しつけ、彼等から自由な鑑賞やそこからの感動を奪いおのずから発するところの美の広がりをせばめようとしているのである。

僕はここで、他の意見を頭から否定せよ、というのではなくむしろ我々は他の意見に進んで耳を傾け、それを理解し意見を理解することと、それを自分のものにすることとは別なことであるようとつとめるべきである。

ただ僕は、人々が自分の心にうかんだ美に対しての感動をもっと大切にし、それを育ててほしいと願うのである。

薄田博志



各アルファベットごとに1つずつ書いて順に繋ぎ、またTにもどるように線をひけ（重複にとり書けめ、ひまでひまでしょうがりんだけやんな）

晩秋のある日、陽ざしの明るい午後だったが、ラジオが洋楽をやり出すと間もなく、部屋の隅から一匹の蜘蛛が出て来て、壁面でかしな挙動を始めたことがある。

今、四年目に入っている私の病気も一進一退というのか、どうやら進の方が優勢らしく、春は青、秋は秋と、毎年の比較がどうも香ばしくない。目立たぬままに次第弱りというのかも知れないが、それはとにかく、一日の大半を横になって、珍らしくもない八畳の、二三ヶ所雨のしみある天井を、まじまじと眺めている時間が多いこの頃である。……中略……

壁面でかしな挙動を見せた奴は中で一番小さいかと思はれる一匹だった。レコードの「デゴイネル・ウイゼン」――昔、私も持っていたことのあるヴィクターの、ハイフェッツ演奏の赤の大盤に違ひなく、鳴り出すと私には直ぐそれと判ったから、何が考えていたことを救い出し、耳は自然とその派手なセン律を迎へる準備をした。

やがて、ぼんやり救っていた視線の中に、すると〳〵と何かが出て来たが、それが蜘蛛で壁の角からすると〳〵と一尺ほど出てきたと思ふと、ぴたっと立止った。見るともなく見ていること、そうが、長い足を一本一本ゆっくりと動かして、いくらか弾みのついた恰好で壁面を歩き廻り始めたのだ。蜘蛛の踊りーと一寸思ったが、踊るといふほどはっきりした動作ではない曲に合はせてどうかかうと云ふのではなく、何かかう、いらいらしたやうなギクシャクした足つきで、無闇とその辺を歩き廻るのだ。

――溶かし去ってやりたい、と私は半ば呆れながら、可笑しかった。

……略……

この文章は私の好きな作家から抜き書きしたものです。

この み 正秋

3A アラカルト

10大ニュース

- 2F室で集団リンチ
- 藤本梅樹 サッカーの試験で 10m 併ばず
- 議長に 村山氏当選
- 武智先生に おうさんができる
- 1月にて、早く 浪人の顔ぶれそろう
- 3F室異常性欲者増す
- 梅田君が 1年で3回も 笑う
- 11月18日(月) 兵頭先生 授業で一度も 西英を言わず
- 菅波君 有馬記念 とる

特記：東大入試中止 志望校変更者続出

なぞなぞ

- 眼鏡よりでているものはなんでしょう。
- ワイヤーブラシはだれの毛でしょう
- 一番長い期は だれでしょう
- ~~一~~番つまらない亜流はだれのでしょう。
- 全く オナラをしない人は?
- 目のない人間は存在するでしょうか
- 授業中一番よく眠るのは。
- 磯野生見は だれでしょう?

一本多い

あだな ベスト3

1. ゴリチャン……仏性がにじみでているそのものずばり
2. ミヤケ……どうして着いたか想像先生もそう呼ぶのだが
3. カッパ……彼の生活を見ていればよくわかる。

特別賞 オンナ……丸山明宏に負けないで!

先生ベスト5

1. 武智先生
2. 早川先生
3. 校長先生
4. Big 佐藤先生
5. 戸井田先生

特別賞 平賀先生
カントウ賞 省吾先生
努力賞 緑川先生
カッコイイ賞 志田先生

「なぞなぞ」答え
- ゴリチャンの毛 入れかえる
- 光安君の目
- コノミ君
- 兵頭先生
- ハシモト君, エロキ
- する
- 本多君
- ?

卒業後も連絡ください!
川崎市元木町 50
TEL 044 (23) 7580
須永光男

忘れられない言葉

川奈　孝明

いつまでも忘れられない言葉。心に灼きついて忘れられない……。そうした経験はおそらく、ほとんどの人が持ちあわせているのではないだろうか。長い年月の間に、いつしかその言葉は忘却の灰の下に埋もれ、もう二度とよみがえる事もないと思われたのに、ある日突然、眠りから目をさまし、記憶の底から頭をもたげ不死鳥のようによみがえりはじめる……。

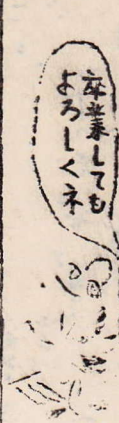
ぼくの貧しい人生経験の中にもその種の人忘れられない言葉が一つある。もう二年半前になる、二年生の時の二学期の始め頃のこと、ある先生と友人数人とで一言のこうるさい文句を言い合いをした事があった。一体何のきっかけだったのか、その先生がぼくの方をみてふと呟くように、

「男の一生にはいろんな事があるさ！」

ポツンといわれた。おそらくそれは、先生の一人ごとだったのだろう。あるにはなんと心に浮んだことを口にされたのかもしれない。だが当時のぼくは、ある理由で学校生活の色々な面でスランプを感じてひどく意気ショボーンとしている時だった。そのぼくの心にそれまでモヤモヤとコリのようにたまっていたものを、いっぺんに吹き消してくれたのがこの先生の一言だった。

「そうだ長い一生だから色々なことがあるさ。」

こんなことで悩んでいてどうするんだ。これまで何度か自分の意志がくじけそうになったり、又学生活に根本的な疑惑を抱いたこともあった。その度にぼくをはげましてくれたのがこの先生の言葉だった。いつかお礼を先生にいいたいと思いながらも、ずるずるとまだその機会をもてないでいる。それにふさわしくお礼を申し上げた所で先生はおそらく何もおっしゃらずニコニコと笑ってこちらをみるだけではないだろうか。ぼくはこの春までの三年間をふり返ってみる時、いつもまずこの事が思い出される。



PR.PRPRPRRPPRRRRRPPRRPR

「幸福論」 中村省吾著

生徒の不平不満にもまけず、どんな土いなことにも生きがいを忘れぬ秘らのせうご師。師が、その秘訣を、「あのねえ、実は、こうなんですね。」とやさしく語りかける。

「よく眠れる数Ⅱ」 大竹登著

筆者特製リノシート付

「お前やれよね俺がやらせる」 武智正治教諭著

現代受験生におなじみの先生が、受験に関する君の悩みを一刀両断！これさえ読めば、君も京大を受験できる。

「虚無よりの出発」 早川 著

〝あ〜あ、けったるいなあ、少しはましなもん食いたいよ。〟〝人生希望なんてないよ〟ニヒリズムの深淵に沈む孤独な思索者、早川 氏が、人間存在の深奥の不条理を鋭くえぐった名著

「首なし芳一」 大竹修一著

古典文学第一人者の力作。首もちぢまるおそろしさ。

「サイド・ベンツもしくは私にとって文学とは何か」

日本ダンディズムの若き旗手、まさに厳然たる歩く文学史の越田氏が、まさにざな術情を駆使して読者を惑す。

渋谷全線座百円

次回映画会のおしらせ

ちびっこギャング、保田、森田両スターほか秋川子役陣総出演！

ほほえましい子供達の愛の世界

PRのページ